

2021年度第4回地域連携活動報告会

2022年2月18日開催

「SDGsで何を共創するのか」

講師：永井 三岐子 氏(前国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット事務局)



講師：永井 三岐子 氏



開会挨拶：永坂 正夫副学長（地域連携担当）

金沢星稜大学地域連携センター主催「第4回(2021年度)地域連携活動報告会」がオンライン(ZOOM)で開催され、約80名が参加しました。

本報告会は、大学の持続的な地域連携活動を全学的に取り組む体制の構築を図ることを目標として、地域連携(貢献)活動(方針を含む)を積極的に情報発信(見える化)し、学内教職員、学生、卒業生、連携先関係自治体、団体、地域社会に対して地域連携(貢献)活動への意識向上を図るため開催しています。特に今年度報告会は本センターの目標とするSDGsに関する講演を通して持続可能な社会づくりに貢献する産学地域連携活動を積極的に進め、地域連携センターの機能強化に向けた契機とするための企画としました。

はじめに永坂正夫副学長(地域連携担当)から開会のご挨拶がありました。

第一部 基調講演

基調講演には、講師として石川県にある国連機関の強みを活かし、石川の自然、文化の豊かさを研究と国連の場で発信するとともに、自治体への政策提言を軸として、SDGsの実践を石川全域で推進されている前国連大学サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット 事務局長の永井三岐子氏を講師に迎え、「SDGsで何を共創するのか」と題して、講演いただきました。

永井氏はフランスで民間会社勤務の後、JICAモンゴル事務所で水資源管理や過放牧の問題、国連大学グローバル環境情報センターで気候変動への適応策研究に従事。JICA-JST 気候変動適応策 プロジェクトコーディネーターとして、タイカセサート大学と東京大学のプロジェクトに参画 などこれまで一貫して環境分野での国際協力業務に従事されてきた経験をもとに、これまでのSDGsの取り組みとして金沢未来シナリオなどについて紹介されました。



金沢星稜大学地域連携センター
地域連携活動報告会
 2022
 2/18

13:0094:00

ふ け ー ぷ

14:0095:00

- 総合研究所「地域連携による地域貢献活動」 / 新法典特任教授
- 経済学部「白山市の観光資源造成」 / 石川典雄准教授
- 人文学部「小中連携英語教育実践プロジェクト」 / 柳井隆子准教授、前田昌隆准教授
- 人間科学部「海陽町中津地区在住高齢者の施設づくり推進-小中高の連携の大切さを伝えて-」 / 高橋千津子准教授
- 星稜大学部「女性の視点からみた地域経済の発展促進策の提議」 / 伊藤定子准教授
- / 関村京子准教授(今年度までプロジェクトを推進)

TEL: 076-253-3985
 E-mail :chikiki-renkei@seiryu-u.ac.jp